

大阪アパレル物流協議会



第48回定時総会議案書

日程 2025年4月18日（金）
14時00分～14時30分
場所 ホテルマイステイズ新大阪
コンファレンスセンター
2階ルビー会議室

2025年度 定時総会 式次第

1. 開会の辞

2. 総会成立報告、議長選出

3. 議事

第1号議案 2024年度活動報告

第2号議案 2024年度会計報告

第3号議案 2024年度監査報告

第4号議案 役員改選

第5号議案 2025年度活動方針

第6号議案 2025年度会計予算

第7号議案 入会・退会企業報告

第8号議案 退任（功労）役員紹介

4. 閉会の辞

第1号議案

2024年度 本部 活動報告

2025年4月18日

総合事務局

江端 秀昭

2024年度も物価の上昇が止まることなく多くの影響を受けた1年でした。
本部では環境の変化・業界動向・新しい技術へのアンテナを張るため旧部会を休止し、
新たに“輸送・倉庫”“マテハン・システム”“容器”の3つの研究会を立ち上げ、
各共同で情報発信をして参りました。また、本総会では部会に変わり研究会として、
2024年度活動報告ならびに2025年度活動計画（案）をご報告させていただきます。

1. 常任委員会

①毎月開催、OAP全体の活動計画策定、研究会との情報交換を行って参りました。

②OAP活動の新規参画へのお声がけ、見学会やプレゼンテーションの場を作り、
多くの情報を発信して参りました。

〔開催日〕 5/24、6/28、7/12、8/9、9/12、10/11、11/8、12/12、2/20、3/13

2. 協賛活動

①第5回関西物流展協賛 オープニングセレモニーテープカット参列 岩男会長 4月

②日本ロジスティクスシステム協会様、開催セミナー御案内 都度

③日本ロジスティクスシステム協会様、物流コスト調査協力 9月

④エコキャップ回収活動終了 12月

3. 情報交換

①牧 邦彦 様（会長 2013～2018 年） 講演会（アパレル業界の国際物流） 8月

②タビオ奈良株式会社様 関西物流改善事例発表会参加 10月

③BIPROGY株式会社様 セミナー開催 11月

④駿和物流株式会社様 百貨店様とのシステム連携に関する情報交換 12月

⑤賀詞交歓会開催 大阪市中央公会堂 1月

⑥日本3PL協会様賀詞交歓会 東京開催参加 真砂副会長 1月

⑦福助ロジスティクス株式会社様 t-sort 導入見学会 2月

※24年問題ではOAP共同配送について経済産業省様と情報交換をおこないました。

※四国向け共同配送納品後に四国メーカーを廻り、共同集荷して帰り便で共同配送する
珍しい共同配送で日本物流学会の冊子にも掲載されました。

4. 親睦活動

①OAPゴルフコンペ開催 11月

2024年度 輸送・倉庫研究会 活動報告

2025年4月18日

輸送・倉庫研究会

御厨 謙昌

(1) 研究会の目的

正会員の皆様へ荷量集約を通じて「原価低減」に寄与し、賛助会員様や後援会員様への「業容拡大」および「新規獲得」に貢献する

(2) 体制

正会員 6 社 賛助会員 1 社 後援会員 5 社

リーダー企業 (株) インテクスト 福助ロジスティクス (株)

(3) 活動実績

第1回 開催日： 6月21日 場所：大阪産業創造館 参加 6社、 9名

第2回 開催日： 9月12日 場所：大阪産業創造館 参加 8社、 8名

第3回 開催日：12月12日 場所：大阪産業創造館 参加12社、14名

(4) 活動内容

①配送データの収集と分析。正会員各社から輸送調査データを収集し、共同配送の可能性を探るための分析を実施。輸送調査データをもとに、新たな共同配送の、ターゲットを以下の3ルートに絞った

(a) 大阪から東京（百貨店）

(b) 大阪から大阪（量販店）

(c) 大阪から千葉（量販店）

②百貨店の共同配送の取り組み

・百貨店共同配送のリードタイム、荷量、集荷場所などの具体的な調査を実施

・12月12日には1社2名の参加による常任委員会で納品代行業者様との現状業務のヒアリングを実施

・複数の運送会社と話し合いを行った結果、いくつかの制約や事情により、共同配送化は継続検討

③量販店の共同配送の実績集約

・量販店向けの共同配送に関する共配実績を集約し、今後の戦略に活かすための、データを整理

④アウトレットの共同配送の研究調査

・全国アウトレット向けの共同配送に関する調査データを収集し実施可能性を検討

⑤EC倉庫の共同化

・物流コストの削減とサービス向上を目指した共同化を検討

・EC市場の拡大に対応した効率的な倉庫運営、休日や繁忙期の需要にも柔軟に、対応できる共同化の研究を実施

2024年度 マテハン・システム研究会 活動報告

2025年4月18日
マテハン・システム研究会
真砂 輝男

(1) 研究会の目的

マテハン・システム研究会は「物流プロセスは協力し、商品の品質で勝負する」という考えのもと、可能な限り情報を共有しOAP会員企業の事業発展および、生産性向上に、つなげることを目的とする。

(2) 着手テーマ

1. 会員企業の「困りごと」を集め、潜在的なニーズを体系化
2. 体系化された「困りごと」をマテハンメーカーに提供し、機器開発に活用
3. 「困りごと」を介した会員企業とマテハンメーカーの個社どうしのマッチング
4. 必要に応じて見学会を開催

(3) 体制

正会員 11社 賛助会員 9社 後援会員 5社 特別会員 1社
リーダー企業 ワコール流通(株) タビオ奈良(株)
会計 ワコール流通(株)

(4) 活動実績

テーマ：①EC梱包過程 ②値札 ③生産性
実績：年7回

- 6/21(金) 活動方針協議 (リアル開催)
- 7/19(金) 正会員より課題共有 (テーマ：EC 梱包工程 / リアル開催)
- 9/20(金) 賛助・後援会員より解決策のプレゼンテーション
- 11/8(金) 正会員より課題共有 (テーマ：値札 / リアル開催)
- 12/20(金) 賛助・後援会員より解決策のプレゼンテーション
- 2/13(木) 正会員より課題共有 (テーマ：生産性 / リモート開催)
- 3/21(金) 賛助・後援会員より解決策のプレゼンテーション
(テーマ：生産性/リモート開催)

2024年度 容器研究会 活動報告

2025年4月18日
容器研究会
小澤 潤

(1) 研究会の目的

会員間での『容器・物流資材』の共同利用・再利用・共同処理によるメリットの創出、賛助会員様、後援会員様へ「業容拡大、新規獲得」に貢献できる活動にする。

(2) 活動内容

OAP会員企業向けに段ボール・リターナブル容器等の再利用や、その他物流容器・資材の共同開発・共同処理方法の模索や情報共有を実施していく。

(3) 体制

正会員 11社 賛助会員 9社 後援会員 5社 特別会員 1社
リーダー企業 ブルーミング中西(株) グンゼ物流(株)
会 計 グンゼ物流(株)

(4) 活動実績

第1回 6/21 大阪産業創造館

- ・各社の物流資材に関するコスト削減手法・課題の情報収集と活動内容とスケジュールの共有

第2回 7/12 大阪産業創造館

- ・6社のEC作業動画を基に共同購入を出来る資材の検討

第3回 10/11 大阪産業創造館

- ・EC資材 OPP袋・OPPテープ・輸送袋 /OPP袋廃棄量
各社アンケートの実施、アンケートを基に各社共同購入が可能か検討

第4回 3/13 BIPROGY(株)様 会議室

- ・資材は各社現在の取引先もあり共同購入に賛同は現状難しいと判断
・段ボール・OPP袋回収でOAPとして会員企業が賛同した場合、
メリットを創出できないかを検討

(5) 2025年度の活動について

容器研究会としての活動は休止。

- ・段ボール回収やOPP袋の回収についての議案は、常任委員会内で引き続き検討して参ります。
- ・資材関連の会員企業様からの情報提供の場としては常任委員会または、マテハン・システム研究会で引き継いで参ります。

2024年度収支報告書

(2024年4月1日～2025年3月31日)



収入の部		m	
収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	4,831,221	会議費	811,526
(各部会・研究会)	211,177	＜内訳＞	
(本部)	4,620,044	(百貨店・環境管理部会)	
		(量販店部会)	
年会費	3,244,000	(情報システム部会)	
利息	2,787	(各研究会 計)	385,053
		(本部)	426,473
ホームページ管理費	30,000	ホームページ管理費	112,222
		通信費	970
		文具・印刷費	13,375
		旅費交通費	106,560
		渉外費	21,921
		手数料	10,670
		NAP会費	110,000
賀詞交換会 懇親会参加費	505,000	賀詞交換会費	1,416,670
総会 懇親会参加費	369,000	総会費	1,214,680
		日本3PL協会賀詞交歓会参加	8,800
		新聞図書費	0
		雑費・その他	38,050
		来期繰越金	5,116,564
		(各部会)	511,859
		(本部)	4,604,705
合 計	8,982,008	合 計	8,982,008

2024年度 特別会計収支報告書

収入の部		支出の部	
収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	486,000		
当期特別会計 積立金	0	特別会計繰越金	486,000
	486,000		486,000

以上の通り報告いたします。

監事 殿

2025/3/27
総合事務局会計 笹井 寛巳

監査報告書

2024年4月1日より2025年3月31日までの会計に関して監査を実施した結果
報告書のとおり相違ない事を認めます。

監査月日 2025年 3月 27日

監事 梶原源太郎



第4号議案



2025年度 大阪アパレル物流協議会 役員（案）

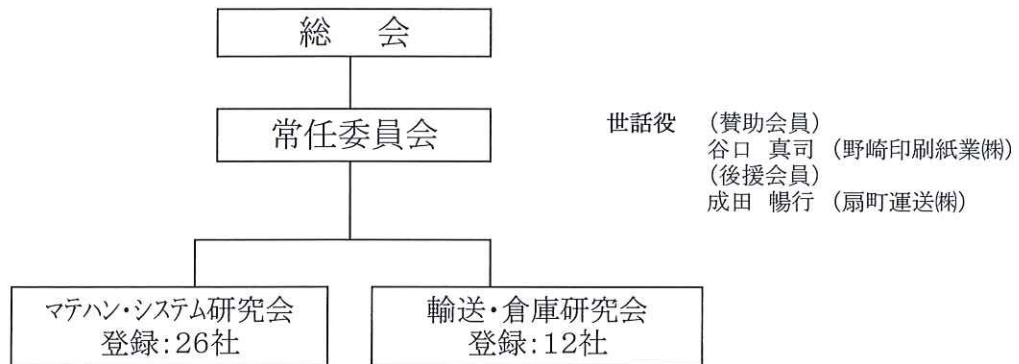
役 職	氏 名	会 社 名
会 長	岩男 史朗	福助ロジスティクス(株)
副会長	坂井 祐二	(株)インテクト
副会長	真砂 輝男	タビオ奈良(株)
副会長	小川 茂浩	グンゼ物流(株)
(新) 副会長	新瀬 幸司	ワコール流通(株)
輸送・倉庫研究会	坂井 祐二	(株)インテクト
輸送・倉庫研究会	御厨 謙昌	福助ロジスティクス(株)
マテハン・システム研究会	真砂 輝男	タビオ奈良(株)
マテハン・システム研究会	新瀬 幸司	ワコール流通(株)
マテハン・システム研究会	小澤 潤	ブルーミング中西(株)
総合事務局 局長	江端 秀昭	グンゼ物流(株)
総合事務局	松田 美保子	ワコール流通(株)
総合事務局	笹井 寛巳	タビオ奈良(株)
(新) 監 事	梶村 源太郎	水岩運送(株)

大阪アパレル物流協議会

OAP(Osaka Apparel Physical Distribution Conference) 2025年度(案)



会 長	岩男 史朗	福助ロジスティクス株式会社
副会長	坂井 祐二 真砂 輝男 小川 茂浩 新瀬 幸司	株式会社インテクト タビオ奈良株式会社 グンゼ物流株式会社 ワコール流通株式会社
事務局長	江端 秀昭	グンゼ物流株式会社
事務局	松田 美保子	ワコール流通株式会社
事務局	笹井 寛巳	タビオ奈良株式会社
監 事	梶村 源太郎	水岩運送株式会社



〔特別会員 1社〕
BIPROGY(株)

〔正会員 25社〕

(株)アサヒファイブ
(株)インテクト
エース物流サービス(株)
岡本(株)
(株)オックスフォード広島屋
(株)オンワード樺山
川辺(株)
グンゼ物流(株)
小泉アパレル(株)
サンエース(株)
サンコー(株)
タビオ奈良(株)
チュチュアンナデリハリサービス(株)
東京ファッションプランニング(株)
(株)マツオカコーポレーション
福助ロジスティクス(株)
(株)フジボウアパレル
ブルーミング中西(株)
(株)ミキハウスロジサポート
(株)ラピーヌ
ワコール流通(株)
(株)Dstyleホールディングス
(株)アズ
三和(株)
山喜ロジテック(株)

〔賛助会員 13社〕

(株)イシダ
オカバマーキングシステム(株)
KSR(株)
小林クリエイティブ(株)大阪支店
(株)サトー
シャープマーケティングジャパン(株)
東芝テック(株)関西支社
野崎印刷紙業(株)
ロジザード(株)
(株)リコウィル
(株)タクテック
アイニックス(株)
(株)東計電算

〔後援会員 26社〕

幸和運輸(株)
佐川急便(株)西日本支社
駿和物流(株)
(株)高木包装
椿本興業(株)大阪本社
東京納品代行西日本(株)
浪速運送(株)
日本通運(株)
(株)ニューウェイ
福山通運(株)
(株)マキエース
丸二倉庫(株)
水岩運送(株)
ヤマト運輸(株)
(株)ワールドサプライ
国際空輸株式会社
アクロストランスポート(株)
(株)荒嘉
(株)イセヤ
(株)エスラインギフ
扇町運送(株)
近畿配送サービス(株)
鴻池運輸(株)
シェアフル(株)
キムラユニティー(株)
マツダ(株)

〔名誉会員 11名〕

柴田 勘彌 (2006/副会長、2007/会長)
川野 信夫 (2009～12/会長)
森田 恒夫 (2010～12/事務局長)
館林 良樹 (2011～13/副会長)
鈴江 俊之 (2012～18/副会長、19/顧問)
牧 邦彦 (2013～18/会長、19・20/顧問)
古川 裕之 (2013～18/事務局長)
明和 幸介 (2015～20/副会長)
小谷 淳 (2019～21/会長、22顧問)
小久保幸夫 (2019～21/事務局長)
堤 幸信 (2022～23/会長)

第5号議案

2025年度 大阪アパレル物流協議会 活動方針（案）

2025年4月18日
大阪アパレル物流協議会
会長 岩男 史朗

■【今期のテーマ】

アパレル流通のサプライチェーンを、「物流」から整流化していく。

■【現状】

「アパレル物流業界の現状」

- ① 未だ「物流の2024年問題」の解決までには至っていない。
- ② トランプ大統領の関税発言に一喜一憂し、アパレル業界も対応に混乱を強いられている。

「OAPの現状」

- ① 未だ同一の配送先に、各社個別で便を仕立て、納品しているルートも多い。
- ② 物流における困り事を多く抱えているが、解決策を中々見出せていない。
- ③ 未だマニュアルな物流作業や人海戦術による物流作業に依存している。

■【方針】

今年度も、昨年度に引き続き、OAP会員企業の皆様に成果（＝メリット）を享受できる活動を継続していく。特に今年度は、昨年度の検証フェーズから、実行フェーズへの移行を目指していく年にする。

- ・方針1：昨年議論した正会員企業の荷量のボリュームメリットを生かした共同化の更なる検証と実行。（共同配送、共同購入、共同交渉、共同利用等）
- ・方針2：昨年見える化した正会員企業の物流作業の効率化における更なる検証と、各社の様々な困り事の共有と解決。
- ・方針3：省人化及び作業効率の向上を目的とする最先端物流機器の検証と導入の実行。

■【活動】

具体的な活動テーマは5月の常任会議で決めることになるも、現在の候補は次の通りとする。

（A）「輸送・倉庫研究会」

- ・百貨店、量販店、アウトレット向けの共同配送の検証と実行。
- ・EC倉庫の共同化のニーズ検証と推進。

（B）「マテハン・システム研究会」

- ・物流における現場の生産性向上の更なる検証と実行。
- ・会員企業各社の困りごとを共有し、解決の糸口を探るべく検証と実行。
- ・物流最先端機器導入事例や、会員企業各社のオペレーション現場の見学会の開催。

上記以外にも、会員企業各社で提案してみたいことの活動の候補を募る。

これらを、各研究会に紐づけていき、成果を出せる活動にしていく。

■【達成目標】

昨年度は、各社の物流に関わる問題や課題の顕在化に尽力してきた。

今年度は、正会員とは、作業の効率化や、大きなコスト低減の実現を目指し、

賛助会員、後援会員とは、OAPの物流を最適化することで、

現行商売と新規商売の獲得と拡大を目指し、全ての会員にメリットを享受できるように、
実行フェーズへの移行を目指していける年にしていく。

結果、アパレル物流業界の活性化に寄与していくことを目標とする。

2025年度 輸送・倉庫研究会 活動方針（案）

2025年4月18日

輸送・倉庫研究会

御厨 謙昌

（1）研究会の目的

「会員企業が抱える物流に対しての課題」を共有し、荷主企業別の物流体制を見直し、得意先別の物流体制の構築を目的とする。

- ・輸送の生産性向上の為、販路特性に応じた共同配送網の拡大により co2 削減を目指す。
- ・ToC ビジネスモデルへの柔軟な対応ができる倉庫運営の仕組み作りの構築を目指す。

（2）重点活動方針

①共同配送の推進

- ・百貨店：納品代行業務の変化を理解するため、見学会を実施し、実務の現状を把握。
- ・量販店：配送ルート及び得意先の拡大を目指し、新たな取引先を開拓。
- ・アウトレット：共同配送の実行可能性を調査し、具体的なプランを策定。

②EC倉庫の共同化

- ・課題や問題点の洗い出しを行い、共同化に向けた調査研究及び勉強会の開催。

③会員間での情報交換と対策の検討

- ・得意先情報（納品形態、納品方法、納品仕様）を共有し、各社のニーズを把握。
- ・梱包資材の価格高騰の状況を確認し、コスト削減策を検討。
- ・運送会社のルート及び料金に関する情報を集約し、最適な物流戦略を模索。

（3）体制

正会員 6社 賛助会員 1社 後援会員 5社

リーダー企業 （株）インテクスト 福助ロジスティクス（株）

（4）活動予定

開催予定：7月、10月、1月にそれぞれ研究会を開催予定。

2025年度 マテハン・システム研究会 活動方針（案）

2025年4月18日
マテハン・システム研究会
真砂 輝男

（1）研究会の目的

マテハン・システム研究会は、「物流プロセスは協力し、商品の品質で勝負する」という考えのもと、可能な限り情報を共有し、OAP会員企業の事業発展および、生産性向上につなげることを目的とする。

（2）重点活動方針

2024年度の方針を踏襲し、各社の困りごとを解決に導く活動を推進する。

リアル開催では、会員による見学会を実施し、各社の課題を共有する。

リモート開催では、共有された課題を踏まえ、賛助・後援会員が解決策を提案する。
得意先のシステム変更情報を適宜共有する。

（3）体制

正会員 11社 賛助会員 9社 後援会員 5社 特別会員 1社
リーダー企業 ワコール流通(株) タビオ奈良(株)

（4）活動予定

回数：年6回

リアル開催：6月 9月 2月

リモート開催：7月 10月 3月

詳細日程については、参加企業に別途ご案内

2025年度収支予算案



(2025年4月1日～2026年3月31日)

収入の部		支出の部	
収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	5,116,564	会議費	1,500,000
(各分会・研究会)	511,859	＜内訳＞	
(本部)	4,604,705	(百貨店・環境管理部会)	
		(量販店部会)	
年会費	3,320,000	(情報システム部会)	
利息	2,700	(直営・WEB委員会)	
		(各研究会活動費 総額)	1,000,000
		(本部)	500,000
ホームページ管理費	30,000	ホームページ管理費	120,000
		通信費	20,000
		文具・印刷費	120,000
		旅費交通費	200,000
		渉外費	100,000
		手数料	10,000
		NAP会費	120,000
賀詞交換会 懇親会参加費	500,000	賀詞交換会費	2,000,000
総会 懇親会参加費	500,000	総会費	1,000,000
		新聞図書費	0
		雑費・その他	20,000
		当期特別会計 積立金	2,000,000
			0
		予備費	2,259,264
合 計	9,469,264	合 計	9,469,264

2025年度 特別会計収支予算案

(2025年4月1日～2026年3月31日)

収入の部		支出の部	
収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	486,000		
当期特別会計 積立金	2,000,000	特別会計繰越金	2,486,000
	2,486,000		2,486,000

第7号議案

入会・退会 企業

【入会企業】

会員区分	会 社 名
正会員	株式会社アズ
正会員	三和株式会社
正会員	山喜ロジテック株式会社
賛助会員	アイニックス株式会社
賛助会員	株式会社東計電算
後援会員	シェアフル株式会社
後援会員	キムラユニティー株式会社
後援会員	マツダ株式会社

【退会企業】

会員区分	会 社 名
賛助会員	株式会社デンソーウェーブ
賛助会員	株式会社トスカバノック
賛助会員	富士コンピューター株式会社
賛助会員	ナクシス株式会社
後援会員	シンク株式会社
後援会員	株式会社サチコーポレーション
後援会員	株式会社ロイヤルロジスティクス
後援会員	大阪デリバリー株式会社

第8号議案

退任（功労）役員

該当者なし